

『さっきゃま魂』

R3. 5. 17 第3号

発行人：校長 中山 末永

6年生から始まって・・・

新年度がスタートして1ヶ月以上が過ぎ、少しずつ子ども達のこともしっかり分かってきたところです。さて、これまでに最高学年となった6年生にお願いしたことが二つあります。

一つ目は、「登校時に1年生のお世話をしてほしい」ということです。前のほうに黄色い帽子（1年生）を見つけたら走って追いつき、後ろにいたら待って、一緒に登校するということです。通学路には、路側帯や歩道はありますが、交通事故などの心配があります。また、一人で登校するよりも、お兄さん・お姉さんと一緒に歩いたほうが、きっと楽しいでしょう。

私も通学路を歩いています。よく1年生のお世話をしている6年生を見かけます。最近では、6年生以外の子ども達も1年生のことをよく見てくれています。なかには、1年生のところに後戻りする子どももいます。これからも、下級生に優しい子ども達が育ってくれたらいいなあと思っています。



二つ目は、「下駄箱の靴をそろえる」ということです。これまで、崎山小学校の自慢の一つに、「靴のかかとかきちんとそろっている」ということがありました。来校した地域の方からも、「玄関に入ったら、子ども達の靴がきちんとそろっているの、とても気持ちがいい」という話をいつも聞いていました。それが、少しおそろかになっていると感じたので、6年生に話をしました。

翌朝、玄関にいて6年生の下駄箱を見ると、明らかに今までとは違いました。100点満点とは言えませでしたが、子ども達が意識して行動していることが分かりました。この6年生の取組を先生方にも伝え、今は全校的に取り組んでいます。6年生がお手本を示してくれたおかげで、どの学年も見違えるほどきれいに並び、気持ちのいい下駄箱になっています。



これからも、学校のリーダーである6年生の活躍で、学校全体がよりよく変わっていくことを楽しみにしています。

「さっきゃま魂」を育てるために！

『全校のみなさん おはようございます。〇月〇日〇曜日、一日のスタートです。「さっきゃま魂をもつ子ども」を目指して、自主・友愛・錬磨・勤労の心を磨き、今日も一日頑張りましょう。』

毎朝7時50分になると放送委員会の子どもがお知らせしてくれます。毎日、この放送を聞くことによって、子ども達は「学校教育目標」をより身近なものに感じていることでしょう。また、この4つの心がふるさとに受け継がれてきた大切な心であることを意識する機会にもなっていると思っています。

私も、この4つの心を意識しながら子ども達の学校生活を見ています。例えば、授業中、意欲的に学習しているだろうか。（自主） 昼休み、友達と仲良く遊んでいるだろうか。（友愛） 授業中、問題を解決するために根気強く考えているだろうか。（錬磨） すみずみまで掃除を頑張っているだろうか。（勤労） 理解していること（さっきゃま魂）を実践に結び付けられるように、これからも具体的な場面を取り上げながら根気強く指導し、4つの心を大切に育てていきます。